



国土交通省中部地方整備局

三重河川国道事務所

第23回 三重河川流域委員会
資料-6

雲出川、櫛田川、宮川水系 河川整備計画の点検

三重河川国道事務所
令和2年10月8日



国土交通省中部地方整備局

三重河川国道事務所



治水に関する取組

雲出川	進捗状況、実施中の事業、事業の内容	1
櫛田川	進捗状況、実施中の事業、事業の内容	6
宮川	進捗状況、実施中の事業、事業の内容、事業の予定	10

利水に関する取組		16
-----------------	--	-----------

環境に関する取組

雲出川	水生生物調査、河川水辺の国勢調査	17
櫛田川	水生生物調査、河川水辺の国勢調査、自然再生の取り組み	19
宮川	水生生物調査、河川水辺の国勢調査、昼田水辺の楽校	22

維持管理に関する取組		25
-------------------	--	-----------

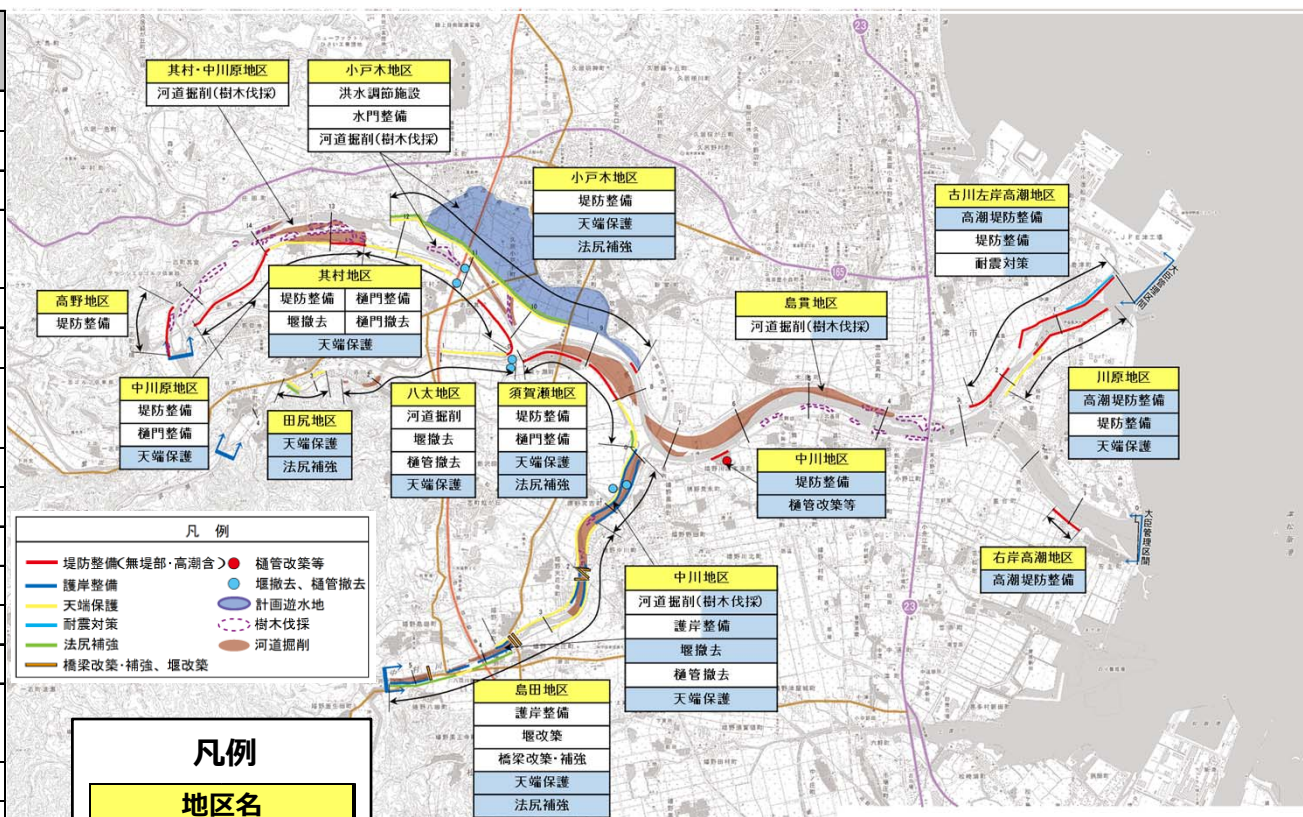
雲出川	事業の内容（維持）	26
櫛田川	事業の内容（維持）	27
宮川	事業の内容（維持）	28

➤ 整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、樹木伐採、護岸整備を重点的に進めており、河川整備計画（平成26年11月策定）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで約25%程度となっています。

概ね30年間の主な整備内容

整備項目	整備箇所	R2年度末時点 整備箇所
堤防整備	9.3km	0.8km
高潮堤対策	3.1km	3.1km
耐震対策	0.8km	0.3km
河道掘削 (樹木伐採含)	1,515千m3	394千m3
護岸整備	5.6km	2.1km
水門整備	1式	—
排水樋門・樋管 整備	3箇所	—
堰改築	3箇所	—
橋梁改築・補強	3箇所	—
洪水調節施設	1式	—
堰撤去	3箇所	—
樋管撤去	3箇所	1箇所
樋管改築	1箇所	1箇所
揚水機場 水路整備	1式	1式
天端保護	12.6km	12.6km
法尻補強	4.6km	4.6km

【事業進捗状況図】



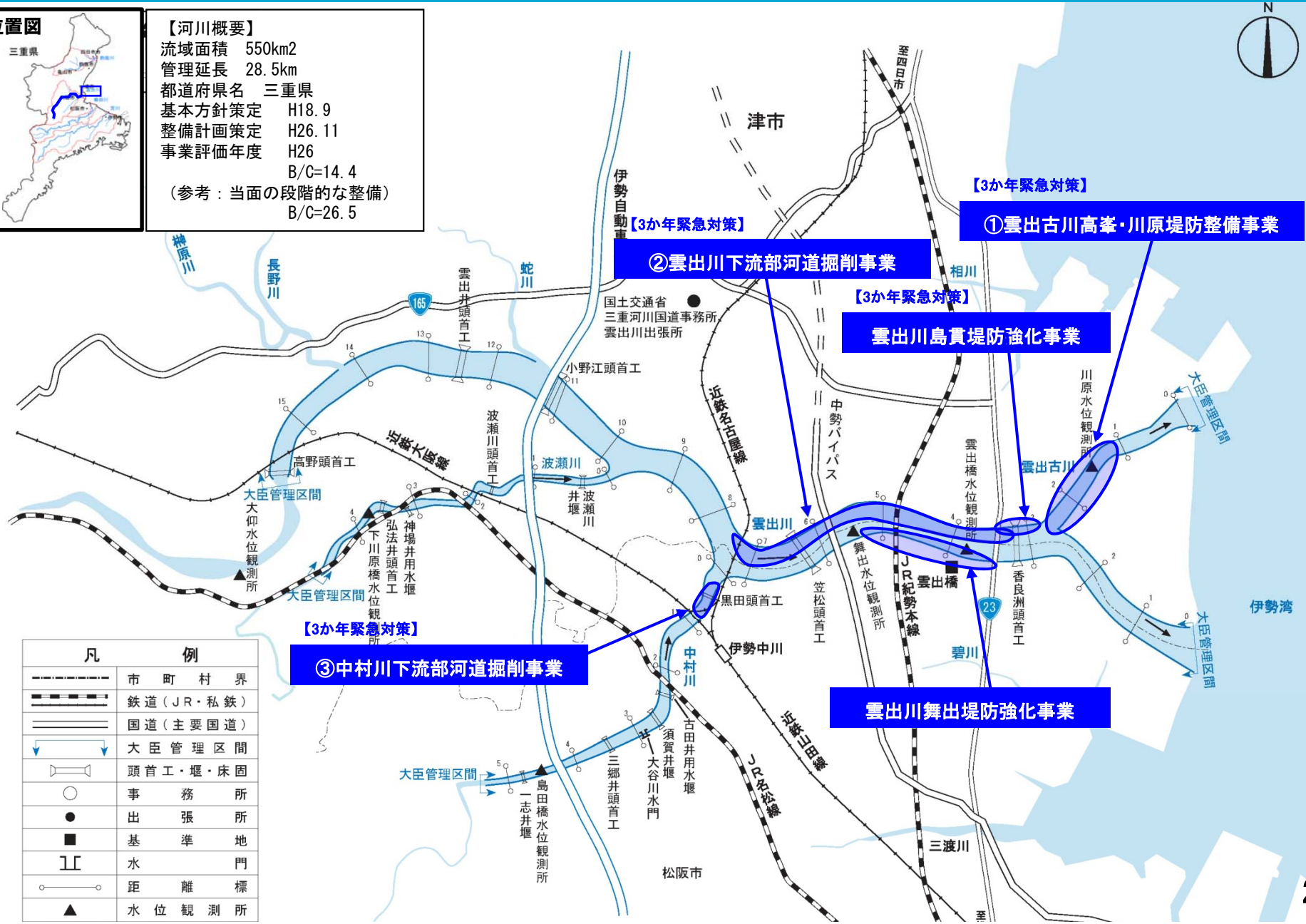
雲出川 実施中の事業



国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所



【河川概要】
 流域面積 550km²
 管理延長 28.5km
 都道府県名 三重県
 基本方針策定 H18.9
 整備計画策定 H26.11
 事業評価年度 H26
 B/C=14.4
 B/C=26.5
 (参考：当面の段階的な整備)



凡	例
--- ---	市 町 村 界
—+—+—+—	鉄道 (JR・私鉄)
====	国道 (主要国道)
⇄	大臣管理区間
▽	頭首工・堰・床固
○	事 務 所
●	出 張 所
■	基 準 地
	水 門
○—○	距 離 標
▲	水 位 観 測 所

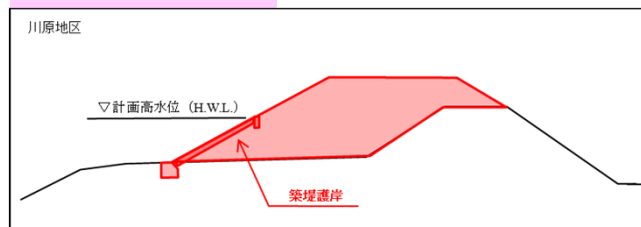
①雲出古川高峯・川原堤防整備事業 【3か年緊急対策】

- 雲出川（津市香良洲町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備、樋管改築を実施する必要があります。
- 現在堤防整備を実施しており、引き続き、事業を実施します。
- また、現在「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により樋管改築を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策中【左岸：高峯地区】（準備工）



対策中【右岸：川原地区】（暫定施工）



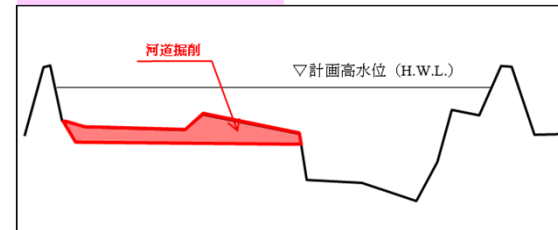
②雲出川下流部河道掘削事業 【3か年緊急対策】

- 雲出川（津市木造町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削を実施する必要があります。
- 現在「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により河道掘削を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



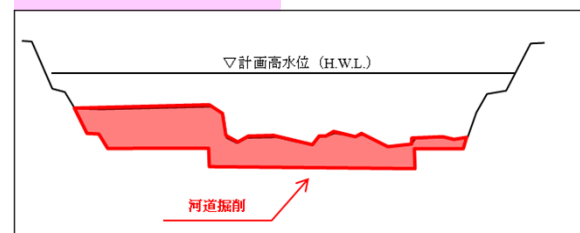
③中村川下流部河道掘削事業 【3か年緊急対策】

- 中村川（松阪市嬉野黒田町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、護岸整備、横断工作物撤去を実施する必要があります。
- 令和元年度末に横断工作物（黒田頭首工）撤去が完了しました。
- 現在「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により河道掘削を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



櫛田川 進捗状況

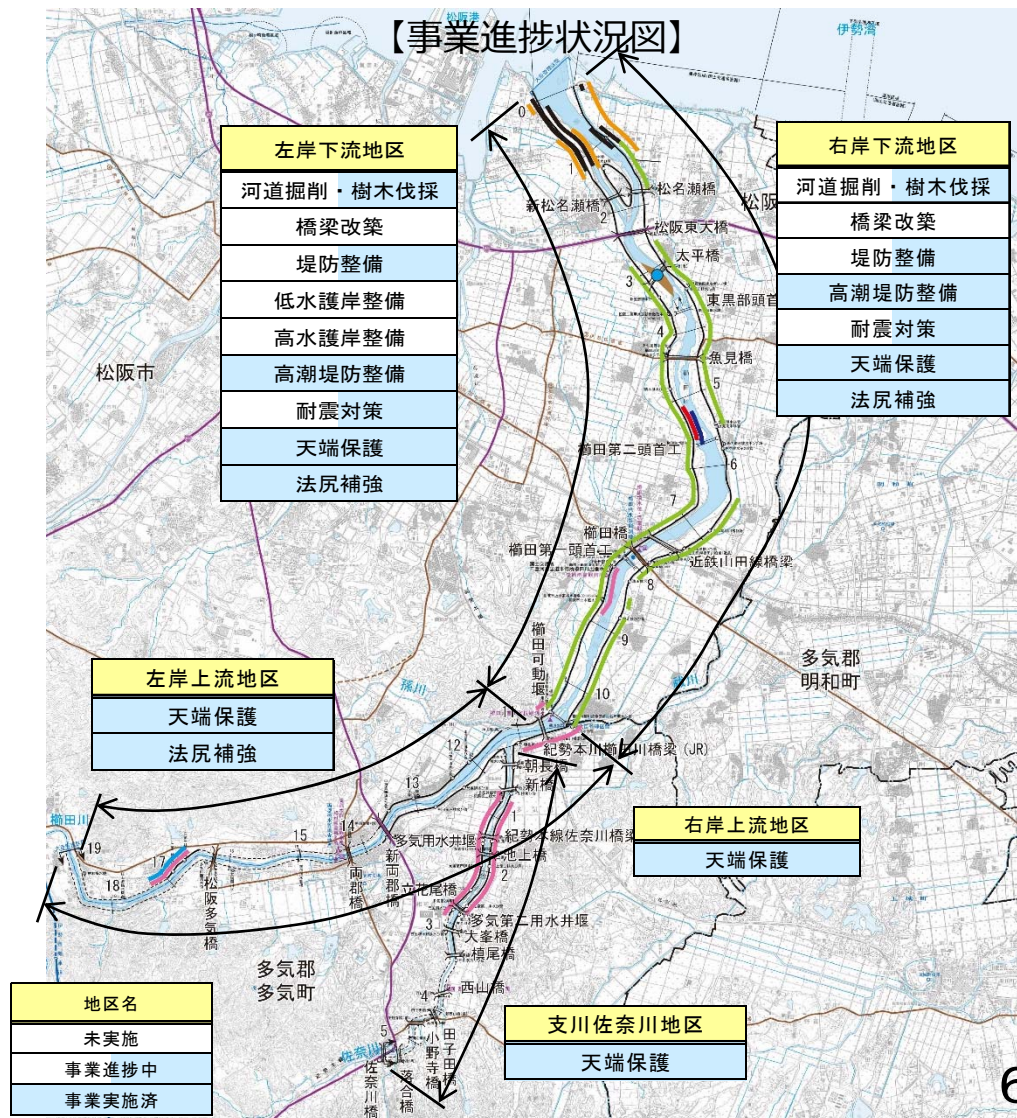


➤ 整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、樹木伐採、堤防整備を重点的に進めており、河川整備計画（平成17年8月策定）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで約55%程度となっています。

概ね30年間の主な整備内容

整備項目	整備箇所	令和2年度末時点 整備箇所
河道掘削・ 樹木伐採	0.6km	0.1km
橋梁改築	1箇所	—
堤防整備 (築堤)	14.6km	8.0km
低水護岸整備	1.0km	—
高水護岸整備	0.4km	—
天端保護	6.7km	6.7km
法尻補強	0.9km	0.9km
高潮堤整備	3.5km	3.5km
耐震対策	2.2km	1.6km

	河道掘削・樹木伐採
	橋梁改築
	堤防整備
	低水護岸整備
	高水護岸整備
	高潮堤防整備
	耐震対策
	天端保護
	法尻補強



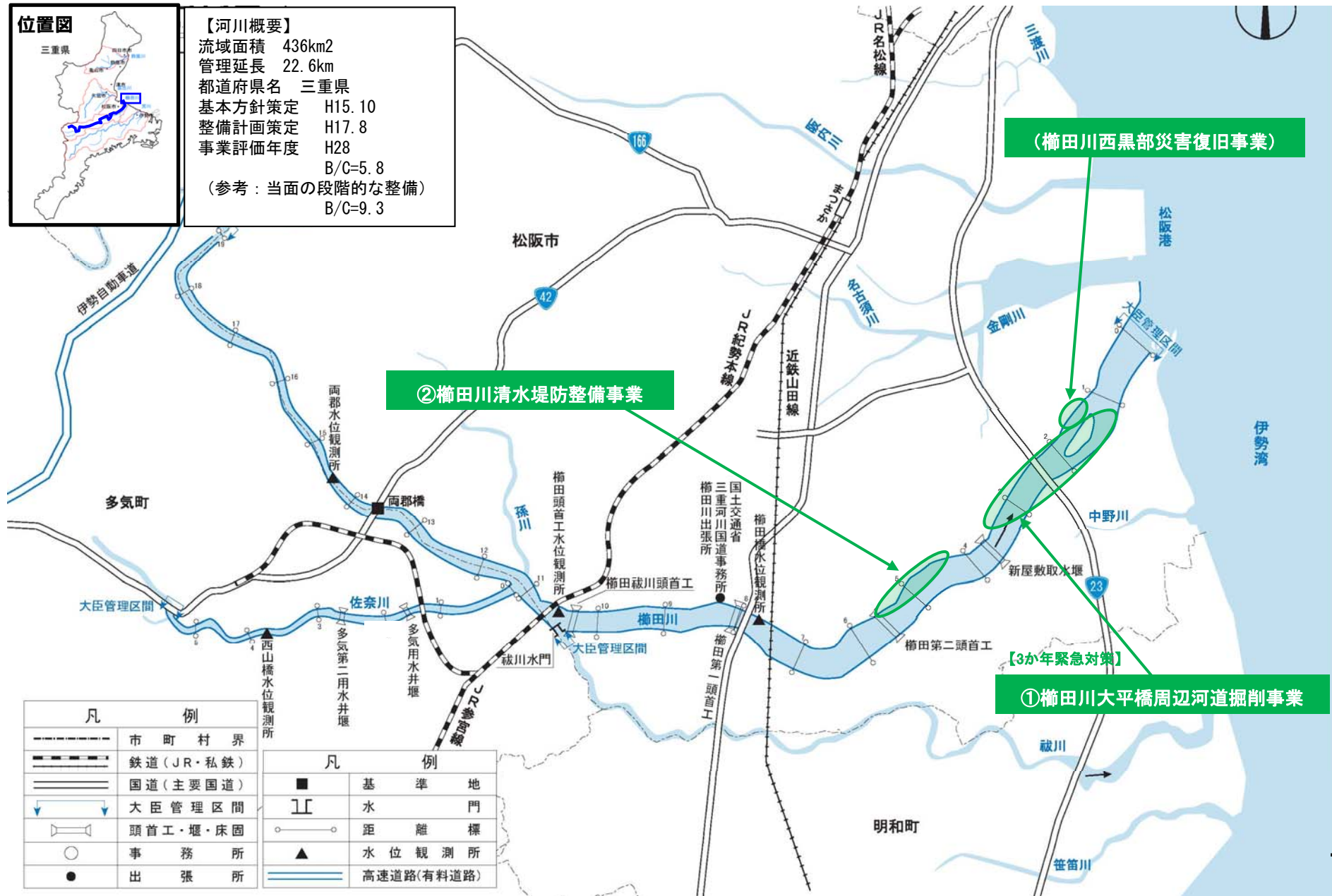
櫛田川 実施中の事業



国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所



【河川概要】
 流域面積 436km²
 管理延長 22.6km
 都道府県名 三重県
 基本方針策定 H15.10
 整備計画策定 H17.8
 事業評価年度 H28
 B/C=5.8
 (参考：当面の段階的な整備)
 B/C=9.3



凡	例
---	市 町 村 界
—+—	鉄道 (JR・私鉄)
====	国道 (主要国道)
⇄	大臣管理区間
⌈	頭首工・堰・床固
○	事 務 所
●	出 張 所

凡	例
■	基 準 地
⌈	水 門
○—○	距 離 標
▲	水 位 観 測 所
====	高速道路 (有料道路)

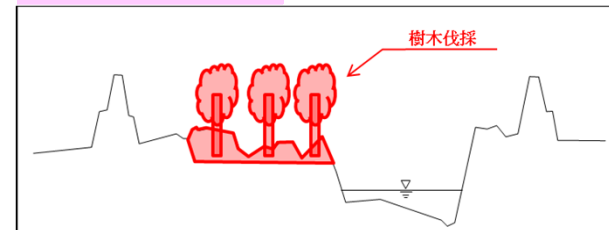
① 櫛田川大平橋周辺河道掘削事業 【3か年緊急対策】

- 櫛田川（松阪市東久保町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、樹木伐採、橋梁改築を実施する必要があります。
- 現在「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により河道掘削、樹木伐採を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



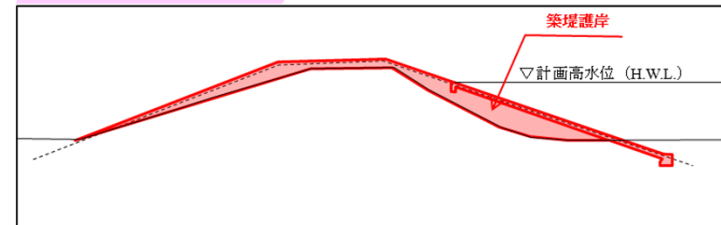
②櫛田川清水堤防整備事業

- 櫛田川（松阪市魚見町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備を実施する必要があります。
- 現在堤防整備を実施しており、引き続き、事業を実施します。

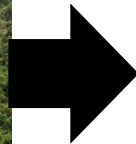
位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



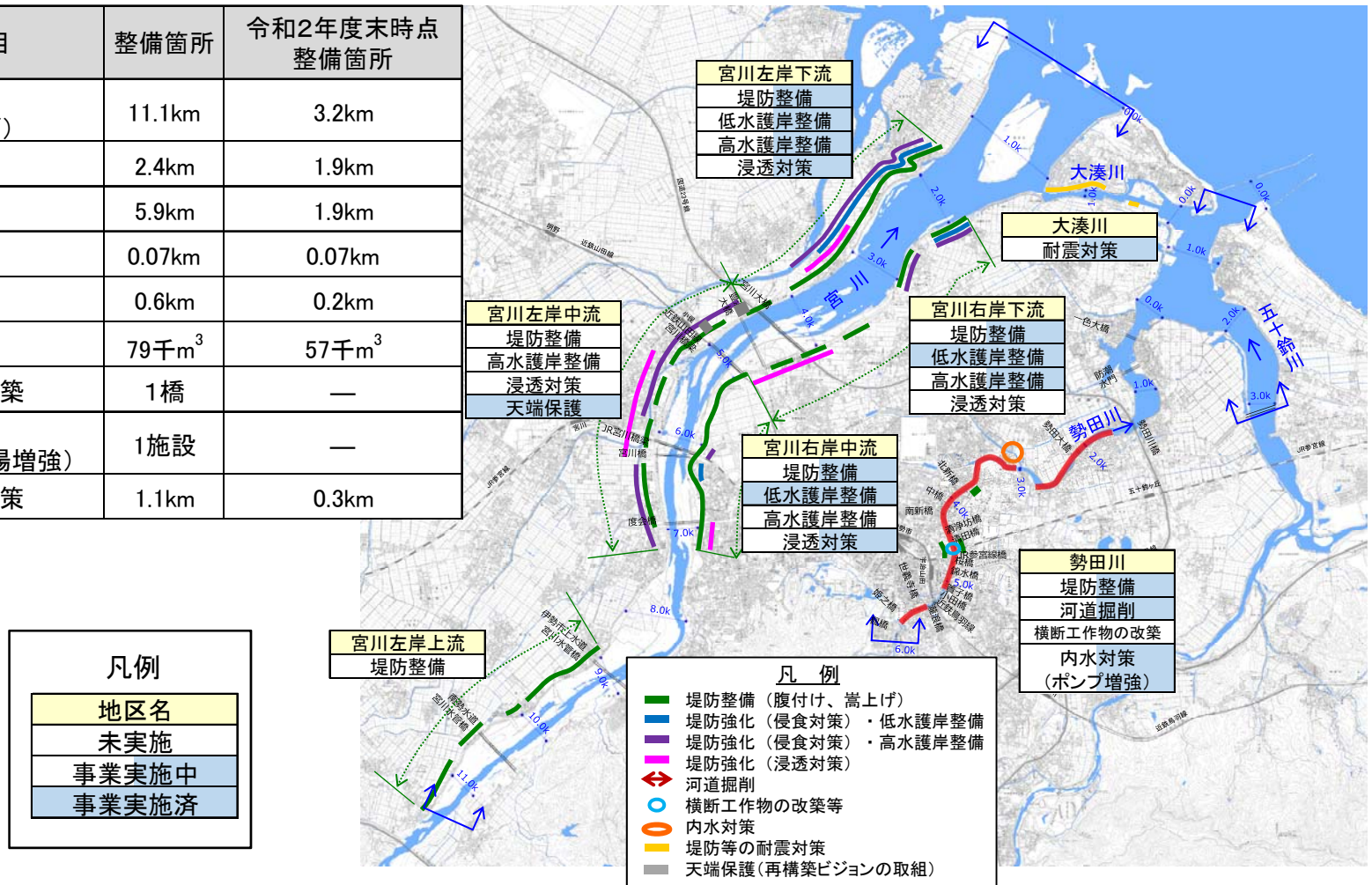
宮川 進捗状況

➤ 整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備、護岸整備、河道掘削を重点的に進めており、河川整備計画（平成27年11月）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで約40%程度となっています。

概ね30年間の主な整備内容

河川名	整備項目	整備箇所	令和2年度末時点 整備箇所
宮川	堤防整備 (腹付け、嵩上げ)	11.1km	3.2km
	低水護岸整備	2.4km	1.9km
	高水護岸整備	5.9km	1.9km
	天端保護	0.07km	0.07km
勢田川	堤防整備	0.6km	0.2km
	河道掘削	79千m ³	57千m ³
	横断工作物の改築	1橋	—
	内水対策 (桧尻川排水機場増強)	1施設	—
大湊川	堤防等の耐震対策	1.1km	0.3km

【事業進捗状況図】



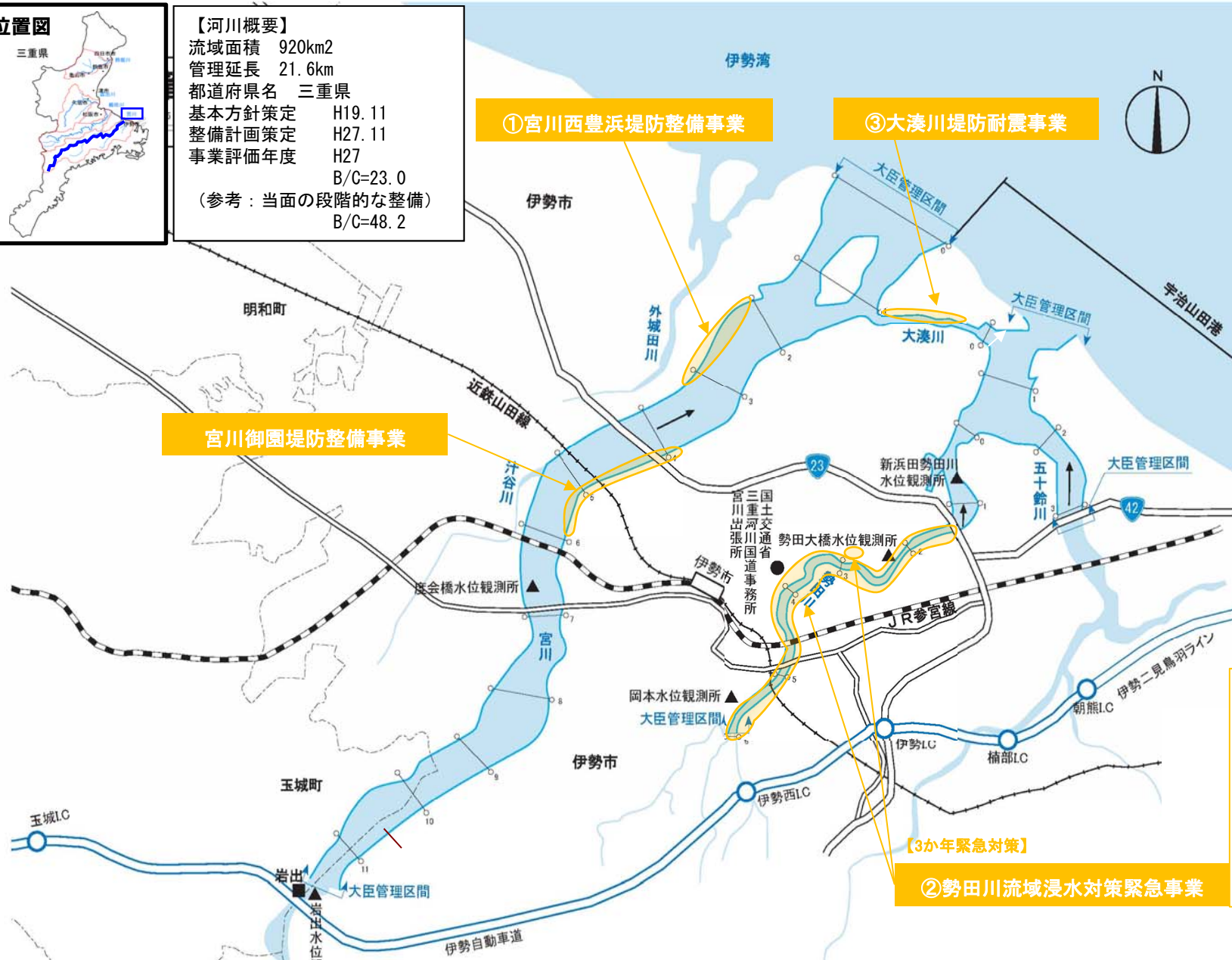
宮川 実施中の事業



国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所



【河川概要】
 流域面積 920km²
 管理延長 21.6km
 都道府県名 三重県
 基本方針策定 H19.11
 整備計画策定 H27.11
 事業評価年度 H27
 B/C=23.0
 (参考：当面の段階的な整備)
 B/C=48.2



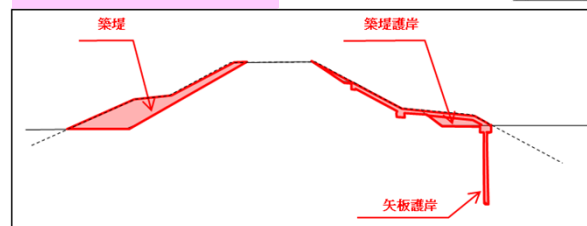
①宮川西豊浜堤防整備事業

- 宮川（伊勢市磯町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備を実施する必要があります。
- 現在**堤防整備**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



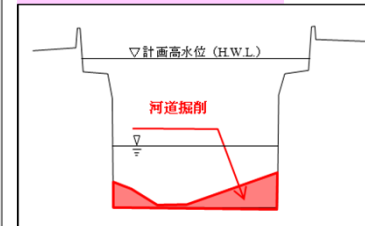
② 勢田川流域浸水対策緊急事業 【3か年緊急対策】

- 河川整備計画において、勢田川（伊勢市田尻町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削等を実施する必要があります。また、内水対策としてポンプ増強を実施する必要があります。
- 勢田川流域では、平成29年10月台風第21号による浸水被害を受け、市、県、国で「浸水対策実行計画」を策定し、三者で総合的・一体的に対策を進めています。
- 現在「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により河道掘削を実施しており、引き続き、事業を実施します。
- 今後、ポンプ増強（桧尻川排水機場）を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後

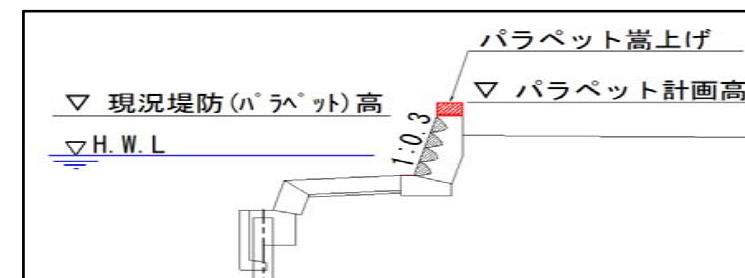
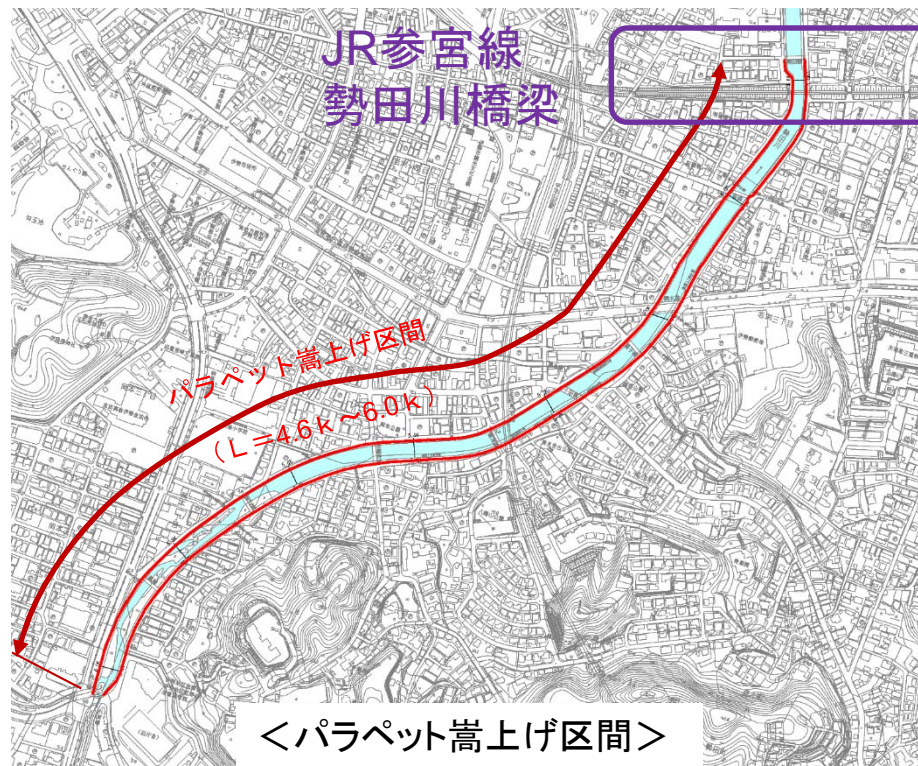


対策中



② 勢田川流域浸水対策緊急事業

- 勢田川では、緊急的な堤防かさ上げを完了(平成30年度)し、河道掘削を実施中ではありますが、JR参宮線勢田川橋梁区間が狭窄部のため、4.6k上流はH.W.L以下への水位低下が見込めない状況であります。
- 現在、施設管理者と協議等を実施していますが、協議が完了するまでには相当な期間を要することから、「浸水対策実行計画」で目標とする短期計画（～R4）での橋梁部対策は極めて困難な状況であります。
- 全国各地で堤防が決壊するなど、大規模な浸水被害が多発している状況に鑑み、地域住民等から早期の安全確保が求められているため、当面の緊急的な措置として、JR参宮線勢田川橋梁の上流区間における水位上昇による越流等のリスクを低減させる方策として、JR参宮線勢田川橋梁部から直轄上流端までの約1.4km区間の左右岸パラペットの嵩上げ（余裕高の確保）を行う予定であります。



③大湊川堤防耐震事業

- 大湊川（伊勢市大湊町町地先）では、大規模地震等で基礎地盤の液状化等により堤防の沈下、崩壊、ひび割れ等が生じた場合、浸水による二次災害及び津波による被害の恐れがあります。そのため、耐震対策を実施する必要があります。
- 現在耐震対策を実施しており、引き続き、事業を実施します。

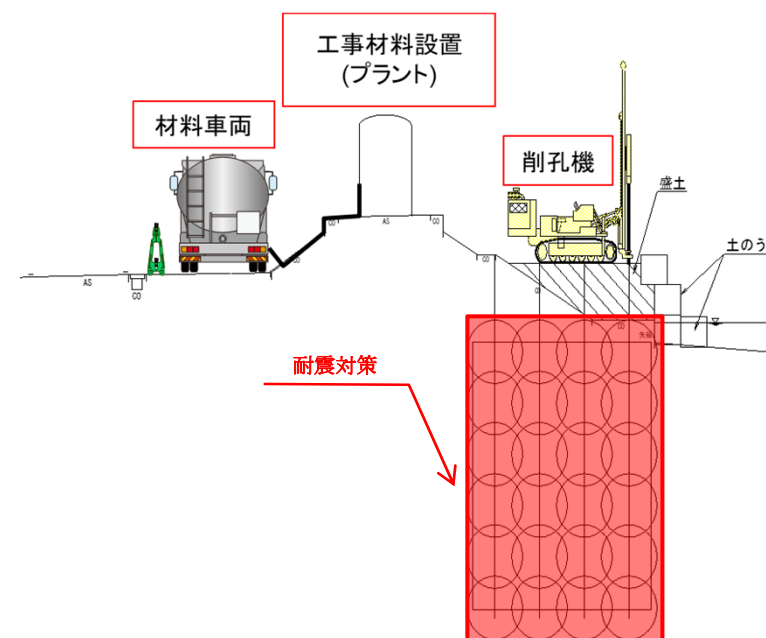
位置図



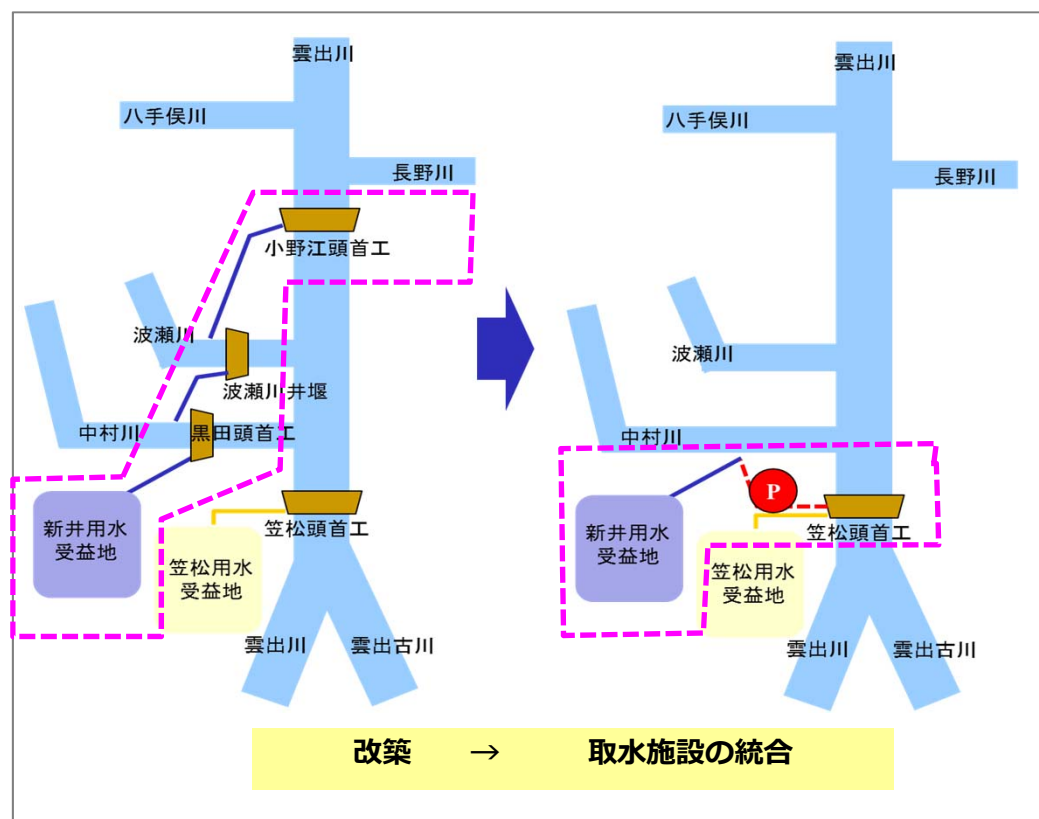
対策中（削孔工）



工事イメージ図



- 雲出川水系では、小野江頭首工、波瀬川井堰を經由して最終的に黒田頭首工から取水していた系統を見直し、雲出川に現存する笠松樋管を改築することで黒田頭首工と笠松頭首工を「統合」し、平成30年3月より、新たな系統での取水を開始しました。
- 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持の観点から、令和2年度より、流況把握に努めています。



新井用水の取水位置の変更

雲出川 環境に関する取組(水生生物調査)



国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所

- ▶ 今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、原則中止としました。参考として直営にて調査を実施し、その状況を説明し授業等で活用してもらえるような学習用資料を作成、沿川の4団体に配布しました。
- ▶ 実施希望のあった1団体については、65名の参加で調査を実施しました。

小野江頭首工【雲出川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	—	—
令和元年	—	—
令和2年	65人	I

雲出川ラブリバー公園【雲出川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	59人	II
令和元年	—	—
令和2年	—	—

水生生物調査の実施状況

桜つつみ公園(H29)



小戸木橋(H30)



雲出川ラブリバー公園(H30) 小野江頭首工(R2)



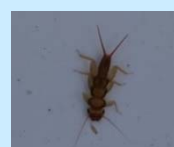
小戸木橋【雲出川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	220人	I
令和元年	91人	(屋内)
令和2年	(直営)	II(参考)

桜つつみ公園【中村川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	23人	(屋内)
令和元年	25人	(屋内)
令和2年	(直営)	I(参考)



確認された指標生物(R2調査)

水質階級 I



カワゲラ類



ヒラタカゲロウ類

水質階級 II



コガタシマトビケラ



ヒラタドロムシ類



- 令和元年度は植物の調査を実施しました。
- 確認種数は、平成21年以降は調査地区の追加・範囲拡大のため、増加傾向にあります。
- 重要種数はほぼ横ばいで推移しています。外来種数は、平成21年度以降の調査範囲拡大により、確認種数が増加しています。

河川水辺の国勢調査の実施状況 (雲出川：H13以降)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
魚類					●					●					●					●					●
底生動物					●					●					●					●					●
鳥類		●			●		●						●										●		●
両生類・爬虫類・哺乳類	●					●									●										
陸上昆虫類				●										●						●					●
植物		●							●											●					
河川環境基図		●						●					●						●					●	

※今回報告対象



重要種
(ハママツナ)

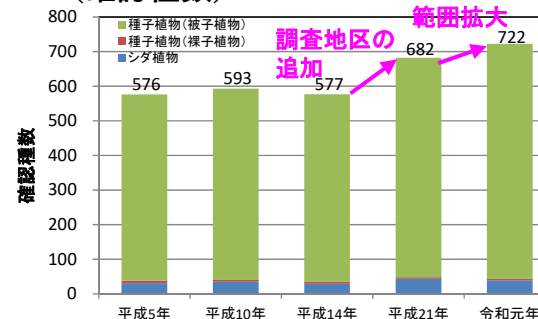


重要種
(マツモ)

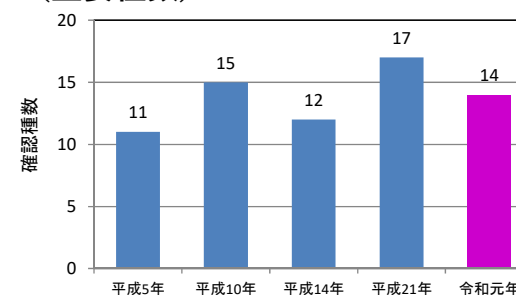


外来種
(オオキンケイギク)

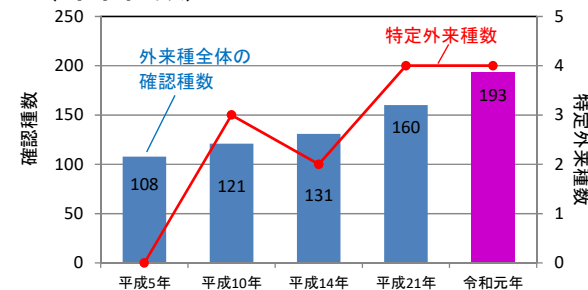
(確認種数)



(重要種数)



(外来種数)



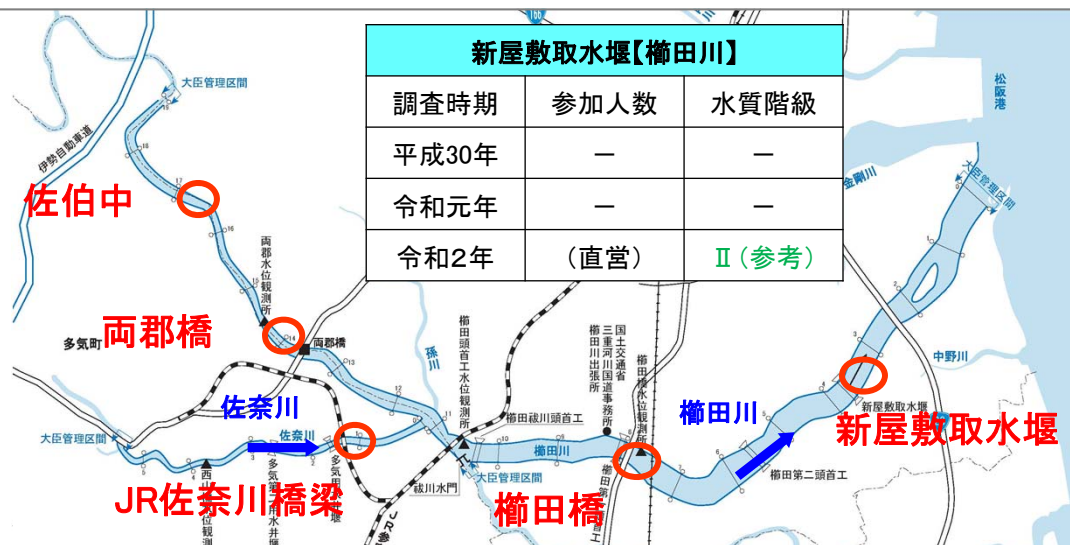
水辺現地調査における確認種数の推移

櫛田川 環境に関する取組(水生生物調査)



国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所

▶ 今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、原則中止としました。参考として直営にて調査を実施し、その状況を説明し授業等で活用してもらえるような学習用資料を作成、沿川の10団体に配布しました。



新屋敷取水堰【櫛田川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	—	—
令和元年	—	—
令和2年	(直営)	II (参考)

JR佐奈川橋梁【佐奈川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	51人	(屋内)
令和元年	63人	(屋内)
令和2年	(直営)	II (参考)

佐伯中【櫛田川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	7人	I
令和元年	14人	(屋内)
令和2年	(直営)	I (参考)

両郡橋【櫛田川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	46人	IV
令和元年	52人	(屋内)
令和2年	(直営)	I (参考)

櫛田橋【櫛田川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	71人	I
令和元年	101人	I
令和2年	(直営)	I (参考)

水生生物調査の実施状況



確認された指標生物(R2調査)

水質階級 I		水質階級 II		水質階級 IV	
カワゲラ類	ヒラタカゲロウ類	イシマキガイ	ユスリカ類	イシマキガイ	サカマキガイ
ナミウズムシ		コオニヤンマ			

- 令和元年度は、河川環境基図調査を実施しました。
- 植生群落の面積は、全体的には大きな変化は見られず、安定しています。
- 重要種群落は、河口部の塩沼植物が大半を占めていますが、令和元年はやや減少しています。
- 外来種群落は、セイタカアワダチソウ群落とマダケ・モウソウチク植林が主ですが、令和元年はその他群落も増加しています。

河川水辺の国勢調査の実施状況 (櫛田川：H13以降)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
魚類	●					●					●					●						●			
底生動物	●					●						●					●						●		
鳥類			●					●										●					●		
両生類・爬虫類・哺乳類		●					●											●						●	
陸上昆虫類						●					●										●				
植物				●								●											●		
河川環境基図				●					●				●						●					●	

※今回報告対象

調査地区



※調査は、直轄管理区間全区間で実施



重要種群落
(ハマボウ群集)

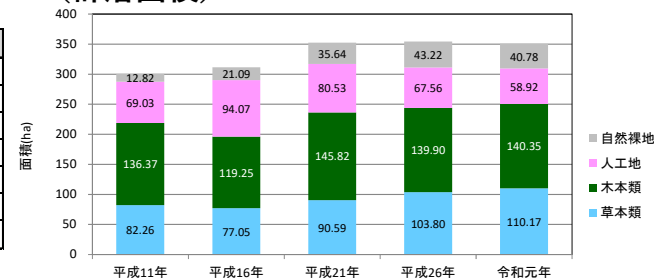


重要種群落
(フド群集)

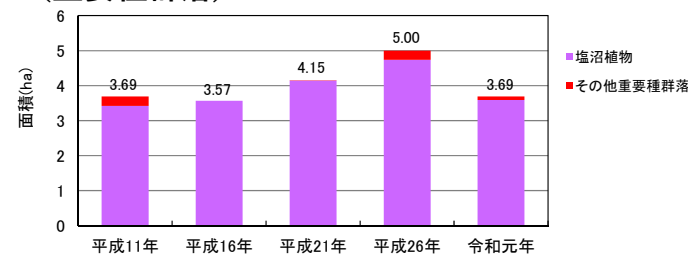


外来種群落
(セイタカアワダチソウ群集)

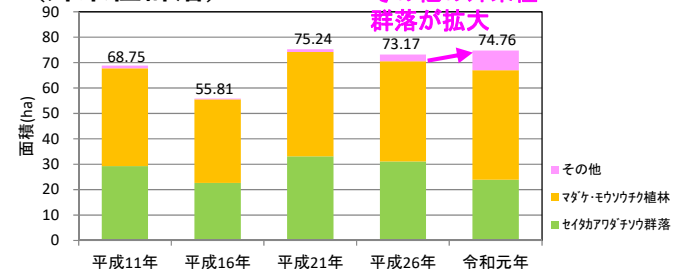
(群落面積)



(重要種群落)



(外来種群落)

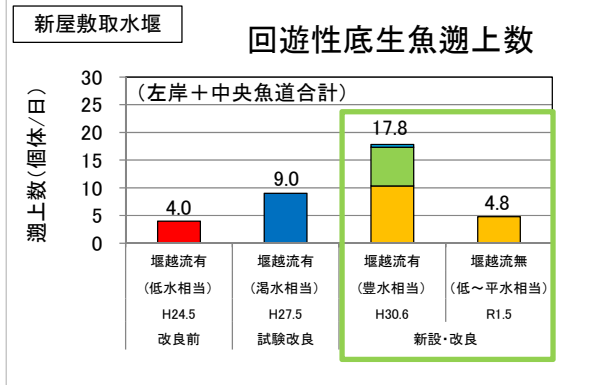
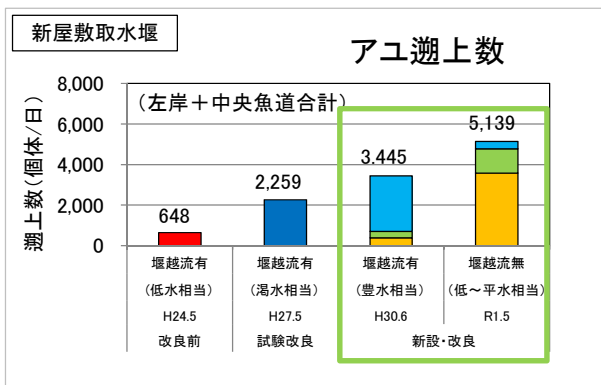
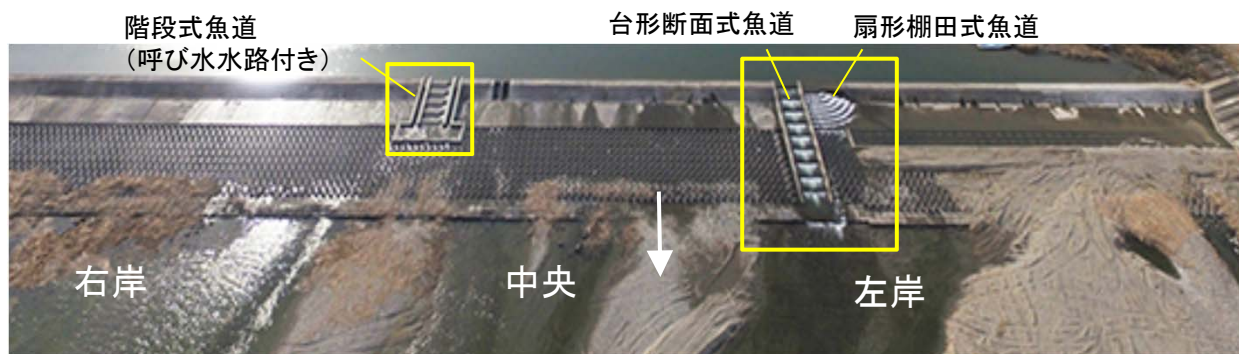


水辺現地調査における群落面積の推移



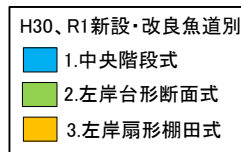
- 櫛田川では、自然再生事業として堰・頭首工における魚類遡上環境の改善を関係機関と連携して進めており、平成28～29年に新屋敷取水堰魚道の改良を行いました。
- 改良後モニタリングのモニタリング調査では、河川流況の変化に応じて魚道の遡上が確認されており、改良効果が確認されています。

<新屋敷取水堰における魚道整備状況と効果>



第二頭首工直下で確認されたカマキリ

- ・H24.5、H27.5: 改良前、試験改良施設における1日間の遡上調査結果
- ・H30.6: 整備後施設における6日間の遡上調査結果の平均
- ・R1.5: 整備後施設における2日間の遡上調査結果の平均



魚道整備後のアユ・回遊性底生魚遡上数の比較
(櫛田川自然再生モニタリング調査による)

宮川 環境に関する取組(水生生物調査)



国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所

▶ 今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、原則中止としました。参考として直営にて調査を実施し、その状況を説明し授業等で活用してもらえるような学習用資料を作成し、沿川の4団体に配布しました。

度会橋【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	59人	(屋内)
令和元年	—	—
令和2年	(直営)	II (参考)

御側橋【五十鈴川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	10人	(屋内)
令和元年	9人	I
令和2年	(直営)	I (参考)

宮川水管橋下流(昼田)【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成30年	中止	—
令和元年	26人	(I)
令和2年	(直営)	I (参考)

※R1は昼田水辺の楽校内のせせらぎ水路で実施



水生生物調査の実施状況

度会橋(H29)



宮川水管橋下流(R1)
(昼田せせらぎ水路)



御側橋(R1)



確認された指標生物(R2調査)

水質階級 I



水質階級 II



水質階級 III



水質階級 IV



学習用資料

- 令和元年度は鳥類の調査を実施しました。
- 確認種数は、調査回数の違いもあり平成16年をピークにやや減少していますが、概ね安定しています。
- 重要種数も同様に平成16年をピークにやや減少している傾向が見られます。
- 外来種は2種が確認されています。

河川水辺の国勢調査の実施状況 (宮川：H13以降)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
魚類		●						●					●						●					●	
底生動物		●						●					●						●					●	
鳥類				●					●										●						
両生類・爬虫類・哺乳類			●										●										●		
陸上昆虫類	●					●										●									
植物					●								●											●	
河川環境基図					●				●				●		●				●						●

※今回報告対象



※1kピッチでスポットセンサス調査を実施

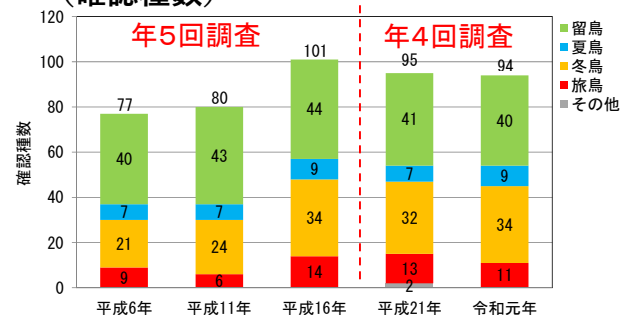


重要種 (コクガン)

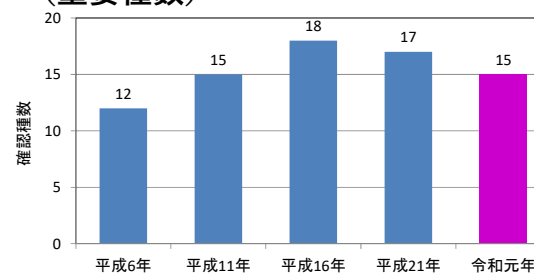


重要種 (チュウヒ)

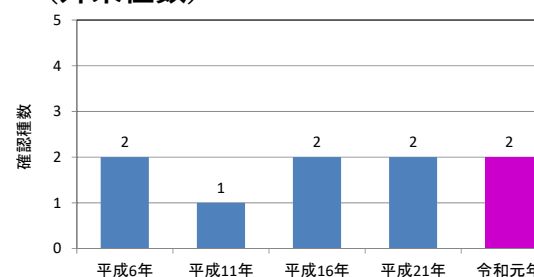
(確認種数)



(重要種数)



(外来種数)



水辺現地調査における確認種数の推移

- 宮川では、玉城町昼田地区の河川敷に、水辺の楽校を整備し令和元年5月に開校しました。水遊びができるせせらぎ水路やスポーツができる広い高水敷の広場が整備されています。
- せせらぎ水路は、魚類等の生息が確認され、自然観察の場として利用されています。
- 利用者は、休日にはのべ200人を超える日も見られます。玉城町だけでなく、伊勢市からの利用者も見られ、今後のさらなる利用拡大が期待されます。

<日常の利用>



広場での散策(R2.5.17)



せせらぎ水路での水遊び(R2.8.2)



広場でのピクニック(R2.8.2)



駐車場の利用(R2.8.2)

<イベント利用>



天体観測(R2.8.22)
※11家族34人が参加

三重四川における維持管理に関する取組

- 河川巡視・点検等により状況把握を行い、維持管理対策を実施します。
- 得られた知見を分析・評価し、河川維持管理計画に反映するサイクルの体系を構築しています。

維持管理

治水

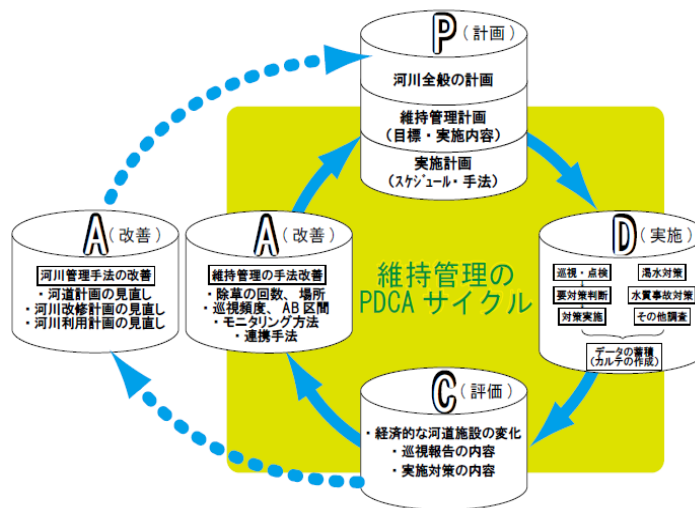
河川の巡視・点検・調査
河川管理施設等の点検・維持管理
河道の維持管理
危機管理対策

利水

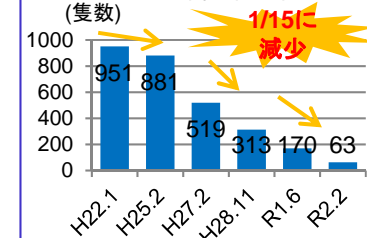
流量等のモニタリング
渇水時の対応等(水利用の調整)

河川環境

河川空間の保全と利用
水難事故の防止
不法占用・不法行為等の防止
住民参加と地域連携による川づくり



勢田川等水面利用対策協議会
(不法係留船対策)



協議会設立後の
不法係留船舶数の推移



台風期点検・出水期前点検



重要水防箇所の合同巡視



機械・電気設備の点検



安全な河川敷地利用連絡協議会
(水難事故対策)



宮川渇水調整協議会

雲出川 事業の内容(維持)



河川維持修繕事業

- 3か年緊急対策により河川管理上支障となっている堆積土砂の掘削等を行い、流下能力の回復を図りました。
- 今後も、河道の状況等を把握しながら、適切な維持管理に努めていきます。



○ : 3か年緊急対策による対策箇所

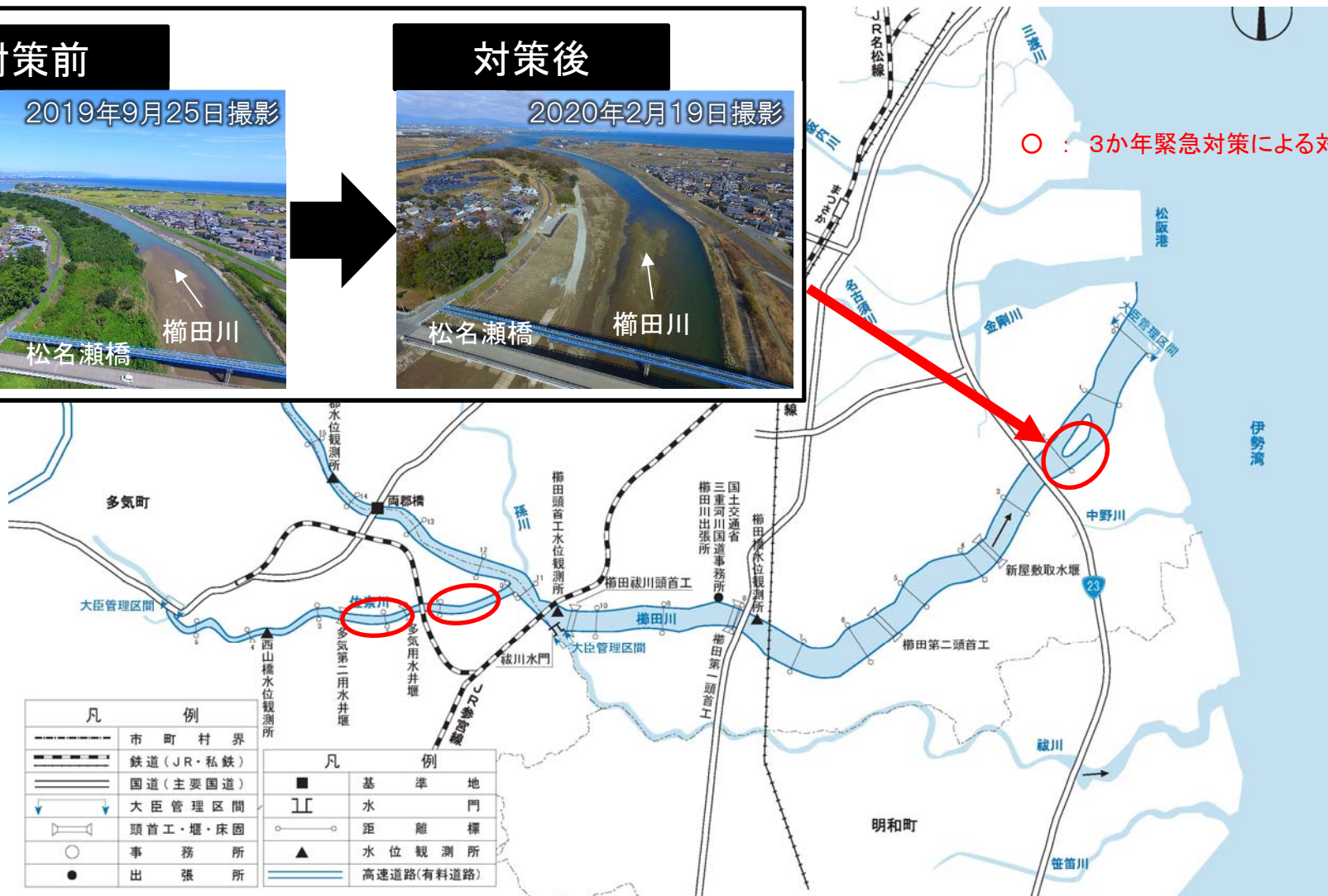
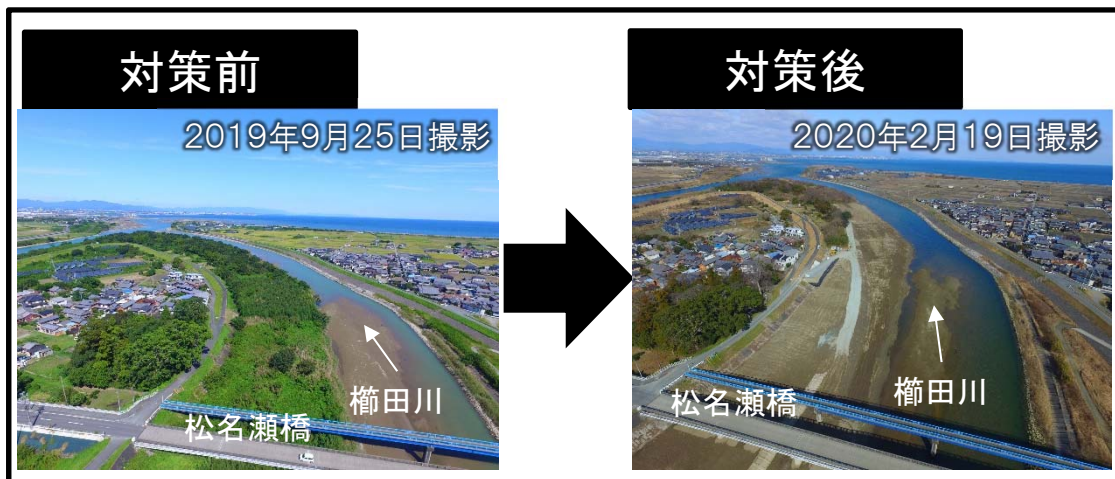
凡 例	
---	市 町 村 界
—+—+—	鉄 道 (J R ・ 私 鉄)
====	国 道 (主 要 国 道)
▭	大 臣 管 理 区 間
▽	頭 首 工 ・ 堰 ・ 床 固
○	事 務 所
●	出 張 所
■	基 準 地
	水 門
○—○	距 離 標
▲	水 位 観 測 所
====	高 速 道 路 (有 料 道 路)

櫛田川 事業の内容(維持)



河川維持修繕事業

- 3か年緊急対策により河川管理上支障となっている樹木の伐採等を行い、流下能力の回復を図りました。
- 今後も、河道の状況等を把握しながら、適切な維持管理に努めていきます。



○ : 3か年緊急対策による対策箇所

凡 例		凡 例	
	市 町 村 界		基 準 地
	鉄 道 (JR・私 鉄)		水
	国 道 (主 要 国 道)		水 門
	大 臣 管 理 区 間		距 離 標
	頭 首 工・堰・床 固		水 位 観 測 所
	事 務 所		高 速 道 路 (有 料 道 路)
	出 張 所		

宮川 事業の内容(維持)



河川維持修繕事業

- 3か年緊急対策により河川管理上支障となっている堆積土砂の掘削等を行い、流下能力の回復を図りました。
- 今後も、河道の状況等を把握しながら、適切な維持管理に努めていきます。



○ : 3か年緊急対策による対策箇所

